

4 新選組と幕末相關図

6 士道に生きた男 土方歳三
12 鬼の副長、北の大地に散華する

16 新選組、最強の隊士たち — 最強ランキング —

- 18 近藤勇
- 20 永倉新八
- 24 沖田総司
- 25 山南敬助
- 27 芹沢鴨
- 28 井上源三郎
- 30 松原忠司
- 31 武田観柳斎
- 33 藤堂平助
- 34 鈴木三樹三郎
- 36 篠原泰之進 / 吉村貫一郎
- 37 大石敏次郎 / 近藤周平
- 22 齋藤一
- 26 原田左之助
- 29 伊東甲子太郎
- 32 谷三十郎
- 35 山崎丞 / 島田魁

38 浪士組結成、そして新選組誕生

- 40 浪士組にはせまじした試衛館の面々
- 42 清河八郎との決別 / 壬生浪士組誕生
- 44 壬生浪士組から新選組結成へ
- 46 八月十八日の政変
- 48 そして、池田屋へ
- 50 蛤御門の変

52 新選組事件簿

- 54 新選組事件簿①志士たちとの戦い 池田屋事件
- 58 明保野亭事件 三条制札事件
- 62 油小路事件 天満屋事件
- 66

68 新選組事件簿②肅清と骨肉の争い 芹沢鴨、肅清

69 山南敬介、切腹

70 新見錦、切腹 / 殿内義雄、惨殺

71 松原忠司、不明 / 河合善三郎、切腹

72 谷三十郎、不明 / 武田観柳斎、不明

73 茨木司・佐野七五三之助・富川十郎・中村五郎、切腹

74 落日の新選組

- 76 新選組の分裂 / 御陵衛士との対決
- 81 甲陽鎮撫隊の敗走
- 82 近藤勇の最期
- 78 鳥羽・伏見の戦い

84 新選組、北へ / 土方はなぜ戦い続けたのか

- 86 宇都宮の戦い 88 会津転戦
- 94 松前占領と開陽丸の悲劇 96 五稜郭占領
- 98 二股口攻防戦 100 土方歳三の死
- 99 宮古湾沖海戦

102 新選組とかわり深かった人物

- 104 西郷隆盛 105 桂小五郎
- 108 勝海舟 / 山岡鉄舟
- 109 榎本武揚 / 佐久間象山
- 106 坂本龍馬
- 107 松平容保

110 新選組資料館ガイド

新選組年表			
文久3年	1863	2月 4日	清河八郎らが浪士組を結成。芹沢鴨ら水戸脱藩派と近藤勇ら試衛館門人も参加する
		8日	浪士組が伝通院を出立して江戸を目指す
		23日	浪士組が入京。壬生村の新徳寺に本部を置き、近藤らは八木源之丞邸に寄宿する
		3月 4日	十四代将軍・徳川家茂が上洛
		13日	浪士組が江戸へ出発。これに反対した芹沢・近藤ら13名は会津藩主・松平容保の預りとなり八木邸に残留する。名を壬生浪士組と改め、京都市中の警護を開始
		4月 21日	将軍家茂が大坂城に入城。壬生浪士組も帯同し、道中の警護に当たる
文久4年 元治元年	1864	5月 10日	下関で長州藩が外国商船を砲撃
		8月 18日	「八月十八日の政変」が起こる。壬生浪士組は御所の御花畑に出陣。その功績により、幕府から京都市中の警護職を下命され「新選組」の名を拝命する
		9月 18日	新選組が島原の角屋で宴会を開く。近藤らが泥酔した芹沢らを八木邸で暗殺
		1月 8日	将軍警護のため大坂入りしていた新選組が、天保山で将軍家茂を出迎える
		6月 5日	新選組が池田屋を襲撃。長州藩・土佐藩などの尊王攘夷派志士7名を斬殺する(池田屋事件)
		7月 18日	「蛤御門の変」が起こる。新選組は九条河原より御所に出勤。会津藩兵と守備に着く
元治2年 慶応元年	1865	8月 2日	将軍家茂から長州征討の命令が下る(第一次長州征伐)
		5日	英・米・仏・蘭の四か国連合艦隊により長州藩が敗北(四国艦隊下関砲撃事件)
		9月 9日	近藤らが隊士募集のため江戸へ向かう。伊東甲子太郎らが新選組に入隊
		2月 23日	新選組総長の山南敬助が脱走の罪により切腹。光禄寺に埋葬される
		4月 27日	土方らが隊士募集のため江戸へ向かう。新隊士約50名を連れて京都へ出発
		5月 12日	将軍家茂が長州征伐のため3度目の上洛。大坂城に滞在する(第二次長州征伐)
慶応2年	1866	11月 16日	大坂を出立した近藤が、幕府軍とともに広島に到着
		1月 21日	坂本龍馬・中岡慎太郎の仲介で西郷隆盛と桂小五郎が会谈。薩長同盟が成立
		6月 7日	幕府軍と長州藩の間で戦闘が開始される。薩摩藩は出兵を拒否
		7月 20日	将軍家茂が死去
		9月 12日	三条大橋の制札をめぐる土佐藩士と新選組が衝突(三条制札事件)
		12月 5日	徳川慶喜が十五代将軍となる
慶応3年	1867	25日	病に臥せていた孝明天皇が崩御。明治天皇が即位する
		3月 20日	伊東甲子太郎ら16名が新選組から分離して御陵衛士を結成
		6月 10日	幕府直参取立ての沙汰を受け、新選組が幕臣となる
		10月 14日	将軍慶喜が将軍を辞し、政権返上を明治天皇に上奏する(大政奉還)
		15日	坂本龍馬と中岡慎太郎が近江屋で暗殺される(近江屋事件)
		18日	近藤らが伊東甲子太郎を油小路の本光寺門前で暗殺(油小路事件)
慶応4年 明治元年	1868	12月 9日	王政復古の大号令
		18日	近藤が御陵衛士の残党に狙撃され重傷を負う
		20日	近藤と沖田総司が療養のため大坂に向かう
		1月 3日	「鳥羽伏見の戦い」が勃発。新選組は伏見市街での激戦後、淀城下に向かう
		5日	新選組は淀城に入れず橋本に敗走。千両松での戦いで井上源三郎ら十数名が戦死する
		6日	橋本での戦いにも破れ大坂へ退却。翌日、新選組は大坂城二の丸に入る
明治2年	1869	10日	近藤、土方らが富士山丸に乗船。兵庫に停泊したあと江戸へ向かう
		3月 1日	新選組を主力とする甲陽鎮撫隊が甲州へ出発。勝沼で新政府軍と戦い敗走(勝沼の戦い)
		14日	五箇条の御誓文が公布
		4月 4日	流山へ転陣した新選組を新政府軍が包囲し近藤が投降。土方らは逃走する
		11日	江戸無血開城
		25日	近藤が板橋刑場で斬首
5月 30日	千駄ヶ谷で療養していた沖田総司が病死。専称寺に葬られる		
10月 12日	宇都宮・白河・会津などを転戦した土方らは、仙台から大江丸に乗船し箱館を目指す		
22日	榎本武揚軍が箱館府軍と交戦し「箱館戦争」が開戦。土方は川汲峠を超えて五稜郭へ		
11月 20日	土方らが松前・江差を占領。残っていた松前藩兵も降伏し蝦夷地を平定する		
5月 11日	一本木間門付近で狙撃され土方歳三が戦死		

3 ※事件の内容や隊士の死には諸説あります。

4 局中法度について
永倉新八直筆の「浪士文久朝日記事」には芹沢鴨の乱暴な一面が描写され、それにより切腹に至ったことしか書かれていません。一方、晩年の永倉の口述をもとに記者の手で書かれた「新選組永倉新八」には、同方面の禁令が存在したとあります。局中法度は、現在公表されている新選組関連史料には出てこない点、このあとに書かれた子母澤寛「新選組始末記」が初出という点を踏まえると、何かしらの禁令があったにしても、その存在の確信性に欠ける部分があります。ただし、本書では新選組内の戒めを表現したいという思いから、局中法度が存在したという視点において記事を作成しております。